

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市泉中央老人福祉センター
2 指定管理者	宮城県高齢者生活協同組合
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 19,486人(前年度比 102.0%) 令和5年度 19,100人 令和4年度 13,587人
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 29,141千円(28,611千円) ・ その他市が負担した費用 1,650千円(0千円) ()は前年度決算額
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円(0千円) ・ その他収入 0千円(0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 令和7年2月に利用者アンケートを実施。その他にも主催事業の参加者にアンケートを実施するなど、利用者の提案内容や要望等に耳を傾けながら事業運営を行っている。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（宮城県高齢者生活協同組合）による自己評価》
当該年度は、引き続き感染対策の継続にご理解とご協力をいただいた運営となった。看護師が担当する健康相談では、コロナ禍以降、率先して利用者へのアプローチを続けており、ご自身の健康への意識向上につながった。その結果、令和6年度の入浴事故は0件であったほか、多くの方が看護師との信頼関係から自主的に健診や病院に行くようになり、「健康であることの大切さに気付かされた」との感謝の声を多数いただいた。 来館者を増やす取り組みとしては、「介護予防教室」の充実を図り、フレイルチェック～予防体操、足腰の鍛錬と転倒予防、毎日できるリズム体操などのテーマを設定した。ご自身の体の状態に合った教室を選択できることで、定員を超える多くの方に参加いただいた。 また、認知症の理解、交通安全講習、防犯講習など身近な問題を取り上げたほか、センター祭り、音楽会、季節行事、映画上映会、遠足などの行事への参加を呼びかけた結果、利用者増につながったと考えられる。 「ボランティア」は活動5年目を迎え、ボランティア精神に賛同いただいた多くの皆さんが、地域とのつながりの中で「手作り品の福祉施設や学校・町内会への寄贈」「地域の要望による芸能披露」「窓拭き、草取り」などの活動を行った。特に手芸の活動では、地域課題の解決という観点から、家庭に眠る不用品に新たな価値を生み出し、社会につなげることができた。 これらの事業を通して、高齢者一人ひとりの居場所となる施設を目指し、職員全員が運営方針を理解・共有しながら取り組むことができた。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の施設運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。 特に、看護師による健康相談は、利用者との信頼関係を築きながら積極的に声かけを行っている点は、入浴事故の防止や利用者の健康意識の向上に寄与しており、普段から利用者が相談しやすい環境づくりという視点からも高く評価できる。 また介護予防教室の内容を充実させ、参加者が自分に合ったプログラムを選べるようにした点は、教室に定員を超える参加があったことから、ニーズに合った企画だったことがうかがえる。さらに、認知症や交通安全など身近なテーマを取り上げた講習や、季節行事・映画・遠足などのイベントの企画が、利用者の増加に繋げている。 その他センターのボランティア会による活動は近年さらに活発となり、地域とのつながりを活かしながら、手作り品の寄贈や清掃活動、芸能活動など、実際の地域課題に応える形で展開されており、地域貢献の面でも意義ある取り組みである。 以上の内容から、泉中央老人福祉センターの令和6年度の運営は、総合的に高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):健康福祉局保険高齢部高齢企画課